

# CASBEE 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2010年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2010(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グラフィック第三工場	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区下鳥羽東芹川町5~1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,785 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年4月28日
敷地面積	10,367 m <sup>2</sup>	作成者	荒木健二郎
建築面積	2,662 m <sup>2</sup>	確認日	2013年5月7日
延床面積	10,176 m <sup>2</sup>	確認者	荒木健二郎

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	93%
③ 上記+②以外の	87%
④ 上記+	87%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** **LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 機能的でフレキシブルな空間とした。積載荷重の設定を大きくし、17F外変更に対応し易い工場として永く使えるように配慮した。	<b>その他</b> 特に無し。	
<b>Q1 室内環境</b> 工場として要求された室内環境を設計し、省エネ、低環境負荷を考慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 自由度の高い17F外を行えるようにプランニングした。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 建物周囲に空間を取り通風を考慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物外壁と屋根の一部にALC版を用い、RC屋根スラブは外断熱とし、窓は複層ガラスを用いることにより、空調負荷を低減した。メインの照明には環境配慮型の照明器具を用いて消費電力を抑えた。また屋上に太陽光ソーラーパネルを設置して太陽光発電を行う。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 地域産木材(北山杉板)を4F東作業場の腰壁に化粧材として貼り付ける	<b>LR3 敷地外環境</b> オール電化の建物として大気汚染の防止を図った

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照された